

令和2年度 第10回 直江津区地域協議会

次 第

日時：令和2年10月20日（火）**18:30 - 20:00**

会場：レインボーセンター 多目的ホール

1 開 会 **18:30 - 18:32**

2 会長あいさつ **18:32 - 18:35**

3 議 題 **18:35 - 19:55**

【報告事項】

- ・ 古城小学校の学習環境の改善に向けた在り方・方策の検討状況について

【自主的審議事項】

- ・ 直江津まちづくり構想について

4 その他 **19:55 - 20:00**

5 閉 会

古城小学校の学習環境の改善に向けた在り方・方策の検討状況

1 古城小学校の現状

- 少子化の進行等により児童数が減少しており、令和2年度は全校17人、学級数は全校3学級（3・4年生、5・6年生は複式学級。1年生は2年生が0人のため単式学級）となっています。
- 複式学級では、上級生・下級生と一緒に学び合う授業や、教室内で学年ごとに分かれて先生が順番に教える授業のほか、一部教科は校長・教頭も入って学年別に授業を行っています。また、体育の授業は、全学年が一緒に行っています。

2 望ましい学習環境（市内の学校に共通する考え方）

- 学校では、新しい新学習指導要領（令和2年度～）による学びが始まり、教科等の知識や技能の習得だけではなく、児童生徒が集団の中で、多様な考えを認めて協力し合い、切磋琢磨することにより、思考力や表現力、問題解決能力等を育むことが、これまで以上に大切になります。
- そのためには、少なくとも1学年1学級以上（複式学級が生じない規模）の学習集団を確保する必要があり、教育委員会では全市的にその実現に取り組んでいます。

3 古城小学校の環境改善に向けた在り方・方策の検討状況

これらの状況や保護者の皆様のご意見などを受け、教育委員会では、子どもたちの学びを第一に、次のとおり環境改善に向けた在り方・方策を検討しています。

今後、地域や関係する学校関係者の皆様の理解・協力を得て進めていきます。

(1) 基本的な考え方

- 複式学級を解消し、子どもたちの学習環境を改善するため、隣接する小学校との統合を進めます。
- 統合に向けた児童間の事前交流や、安全な通学路の確保などにより、児童・保護者ともに安心して統合を迎えられる環境を整えます。

(2) 内容

【統合する学校】直江津小学校

（同じ中学校区の中で最も近い学校で、保育園が同じ児童も多い。）

【統合の方式】 編入統合（古城小学校を直江津小学校に組み入れ）

【統合日】 令和4年4月1日

【通学方法】 スクールバスの運行、又は路線バスの利用 ※いずれも利用無料（保倉川・関川に架かる2本の橋を渡る際の安全を確保する。）

【学校間の連携】 統合前に授業・行事等において各校児童の交流を図るとともに、統合後の学習活動やPTA組織、後援会組織等について必要な調整を行い、一体感の醸成と円滑な移行を図ります。

【その他の環境】 放課後児童クラブは、統合後の児童が分かれることのないよう、直江津小学校内のクラブを一緒に利用いただきます。

4 これまでの検討（保護者との意見交換）の経緯など

- ・学校の在り方について、保護者実施のアンケートなどを基に検討（平成 29～30 年度）
- ・市教育長が訪問し、学校教育の方向性などを説明して意見交換（令和元年度）
- ・保育園、幼稚園の保護者を含めた説明会・意見交換を実施（令和 2 年度）

年々、児童数が減少する中で、複式学級の課題や不安、統合を望む声が高まっています。



【保護者の主な意見など】

○複式学級の課題や不安

- ・上級生と同じ授業を受けることに負担を感じる下級生がいる。（理科・社会）
- ・体育は全学年一緒のため、体力の違いで、種目によっては競い合いができない。
- ・各学年で男女の人数差がある。同性の子がいないとかわいそう。

○統合に向けた環境づくり

- ・事前に学校間の児童や保護者の交流を行い、円滑な移行を図ってほしい。
- ・子どもたちが強い雨風にさらされる 2 本の橋を渡って登校するのは安全面で不安があるため、スクールバスを運行してもらいたい。

5 参考

(1) 児童数の推移・推計 ※網掛けは複式相当の学級。特別支援学級の児童を含む人数

学校名	古城小							【参考】直江津小						【参考】古城小・直江津小の合計								
	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	5	6	計	
(17年度)	10	13	11	9	17	16	76	27	30	23	29	27	31	167								
27年度	3	4	10	6	4	4	31	26	24	38	19	25	20	152								
28年度	6	3	4	10	6	3	32	25	26	25	37	19	26	158								
29年度	2	6	3	4	10	6	31	18	25	27	25	38	19	152								
30年度	6	1	6	3	5	10	31	31	18	25	27	26	37	164								
元年度	0	6	1	6	3	5	21	16	31	18	26	27	26	144								
2年度	3	0	5	1	5	3	17	22	17	30	18	25	26	138	25	17	35	19	30	29	155	
3年度	6	3	0	5	1	5	20	15	22	17	30	18	25	127	21	25	17	35	19	30	147	
4年度	4	6	3	0	5	1	19	20	15	22	17	30	18	122	24	21	25	17	35	19	141	
5年度	1	4	6	3	0	5	19	12	20	15	22	17	30	116	13	24	21	25	17	35	135	
6年度	6	1	4	6	3	0	20	24	12	20	15	22	17	110	30	13	24	21	25	17	130	
7年度	5	6	1	4	6	3	25	9	24	12	20	15	22	102	14	30	13	24	21	25	127	
8年度	4	5	6	1	4	6	26	14	9	24	12	20	15	94	18	14	30	13	24	21	120	

(2) 市内小学校の規模（令和 2 年度）

区分	小規模				適正規模		
状況	複式学級が複数存在	複式学級が存在	クラス替えができない	全学年ではクラス替えができない	半分以上の学年でクラス替え可	国の定める標準	
学級数	①～④	⑤	⑥	⑦～⑧	⑨～⑪	⑫～⑮	⑰～⑳
小学校	古城③:17人 諏訪④:29人 高士④:51人 谷浜④:51人 安塚④:44人 大島④:46人 宮嶋④:41人 山部④:30人	牧⑤:52人 明治⑤:51人	直江津⑥: 138人 戸野目⑥ 上雲寺⑥ 浦川原⑥ 吉川⑥ など21校	大和小⑦ 大町⑧ 八千浦⑦: 173人 南川⑧ 大瀧⑦	南本町⑨ 柿崎⑪	大手町⑫ 直江津南⑫: 278人 春日新田⑫: 379人 国府⑫: 373人 など11校	春日⑳

(3) 古城小学校の沿革（創立 60 周年記念誌より）

- ・昭和 23 年、直江津小学校から直江津第 2 小学校として分離新設
- ・昭和 25 年、古城小学校に校名変更

町内会長との意見交換会について

【目 的】 地域でどのようなことが課題になっているのか、直江津のまちづくりについて町内会長から意見をうかがい、今後の自主的審議の参考にさせていただく。

■直江津地区町内会長協議会との意見交換会

- (1) 日 程 令和2年11月10日（火）午後6時から（1時間30分程度を予定）
- (2) 会 場 レインボーセンター 多目的ホール、第三会議室
- (3) 内 容 ○全体会（多目的ホール）
 - ・地域協議会制度や直江津区地域協議会の取組について説明（事務局）（会場移動）
 - 意見交換（多目的ホール・第三会議室）
 - ・2つのグループに分かれ、地域の課題について意見交換を行う。
 - ※進行役は地域協議会委員が務める。
 - （会場移動）
 - 全体会（多目的ホール）
 - ・2つのグループで、どのような話題が出たのか発表する。

■五智地区町内会長協議会との意見交換会

- (1) 日 程 令和2年12月8日（火）午後6時から（1時間程度を予定）
- (2) 会 場 レインボーセンター 多目的ホール
- (3) 内 容 ・地域協議会制度や直江津区地域協議会の取組について説明（事務局）
 - ・意見交換「地域の課題について」（グループ分けは行わない）

◎第8回会議（9月15日）に各委員から出された「話し合いたいテーマ・課題」

「若い人が頑張れるようなまちづくり」「まちの活性化」

「暮らしやすさ・長く住み続けられるまちの姿」

「公の施設の再配置計画」「地域活動支援事業採択方針の項目ごとの課題検証」

「上越市第6次総合計画や都市再生整備計画の事後評価について直江津区住民の目線で課題をとらえる」「通学路の安全対策」「雁木の整備、段差解消」

「裏道の除雪」「空地・空き家対策」「災害時の避難経路の安全確保」

「国分寺や鏡池など歴史資産の活用」「五智歴史の里会館の有効活用」

「若い人が少ない」「少子高齢化」「団体役員の担い手不足」

「まちづくり団体の高齢化」